

市報

まようだ

2011 January

1

平成23年

No.775

Gyoda City Public Relations



2~5

新春特別対談「のぼうの城」著者と語る
行田の魅力とまちづくり

6~7

市民税・県民税、所得税申告相談

A Happy New Year

年頭のあいさつ

行田市長
工藤 正司

新年明けましておめでとつございます。市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

私は、新しい年の門出にあたり、行田市のさらなる発展と8万7千市民の幸せのため、全力で新しい行田市のまちづくりに取り組んでいく決意を新たにいたしましたところでございます。

長引く景気の低迷により、国・地方を通じて厳しい行財政運営を余儀なくされておりますが、市債（借金）を大幅に削減するなど、お陰をもちまして、行田市政は一つひとつ着実に成果を挙げながら順調に推移しております。

今後とも、市民の皆様の声を市政に反映させながら、「市民が主役」のまちづくりを基本とするソフト重視の施策を展開してまいります。そして、旧南河原村との合併5周年を迎えた今年を、行田市にとって大いなる飛躍の年にいたします。

特に、映画「のぼりの城」がいよいよ公開を迎える予定であり、観光施策をはじめとする諸施策を拡充し、さらなる活力とにぎわいを創出してまいります。さらに、誰もが安心して安全に暮らせるまちづくりに、より一層力を注いでまいります。

また、これまで多くの市民の皆様の参画をいただいて取り組んでまいりました、未来のまちづくりビジョンとなる新しい「行田市総合振興計画」を策定し、力強い行動へとつなげていく所存でございます。

埼玉県名発祥の地である行田市には、古代から受け継ぐ悠久の歴史の中で、逆境や幾多の試練を乗り越えてきた深い知恵と、たゆまぬ努力を積み重ねてきた不屈の力が息づいております。今こそ私たちが行田の英知と力を結集することで、社会の閉塞感を打破し、全国に「元気な行田」を発信できると確信しております。

私は、市民の皆様と「夢・誇り・行動」を共にし、「住んでよし・訪れてよし」の個性豊かで活力に満ちた「行田オンリーワンのまちづくり」に、新たな一歩を力強く踏み出してまいります。どうか市民の皆様には、市政に対する一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

新春
特別対談

「のぼりの城」著者と語る 行田の魅力とまちづくり



× 工藤市長

今年秋に公開される映画「のぼりの城」の原作者であり、脚本家でもある和田竜さんをお招きし、工藤市長と対談していただきました。

市長 お忙しい中、お越しいただきありがとうございます。小説「のぼりの城」は、今や文庫本を合わせた累計発行部数が177万部を超えたそうですね。おめでとうございます。以前お会いしたときよりも、さらに作家としての賞禄かんとくを感じますね。

和田（笑）ありがとうございます。「のぼりの城」はそもそも行田の歴史を扱ったものなので、単行本を出したときから行田を中心とする埼玉から全国に広めていきたいという思いがありました。お力添えをいただいております。



Profile

和田 竜さん

昭和44年12月大阪府生まれ。さいたま市在住。平成15年12月、オリジナル脚本「忍ぶの城」で第29回城戸賞を受賞。平成19年12月には小説「のぼうの城」を出版。同作は、第139回直木賞候補作となり、第6回本屋大賞2位に選ばれる。平成22年9月に任命された埼玉の魅力を発信する埼玉応援団「コバトン倶楽部」のメンバーとしても活躍中。

「のぼうの城」の作成秘話

市長 和田さんは子どものころから小説家になりたいという夢をお持ちだったのですか。

和田 小説家になることは思っていなかったですね(笑)。もともと映画監督になりたくて、脚本を書き始めました。忍城の水攻めを題材にした脚本で、城戸賞を受賞したのですが、映画化したくてもなかなか実現できなかったもので、まず原案として出そつとということから小説にしました。



和田竜さん

市長 小説を書くことは意図していなかったのですか。ところで、そもそも、どうして忍城や成田長親を題材として脚本を書くことになったのですか。

和田 僕は以前、繊維業界新聞社にいます。そこに「行田市出身の同僚がいたんですね。僕が脚本を書いていることや歴史が好きだということや、彼に伝えたら、教えてくれたのが、忍城の水攻めの話だったんですよ。彼に教わらなかったら、この史実を知らなかったかもしれない、書くこともなかったかもしれないから、彼には本当に感謝しています。

市長 この忍城水攻めは、わがまち行田で実際にあった史実ですが、小が大に勝る、フィクションドラマみたいなストーリーが最大の魅力です。和田 バラエティーに富んでいるんです。



取材で感じた行田の魅力

市長 ところで、行田での取材の際、どんな場所へ行ったのですか。

和田 基本的には忍城の周辺と丸墓山との往復が多かったですね。郷土博物館に現在の地図と忍城の昔の地図を合わせたような地図があって、それがすごく役に立ちました。物語を書くときには距離感が割と大事なので、下忍口から丸丸ってこのくらいの距離があるんだとか、こんなふうに見えるんだとか、そういうのを確認しながら歩きましたね。あとは高源寺とかね。僕にとつて、歴史上の人物って芸能人みたいな感じなので、正木丹波守のお墓を見たときには、やっぱり感動しましたね。

市長 新たな発見や興味を抱いたものなどはありましたか。

和田 僕は史料を読んで、すでに愛着を持って行田に来たので、ただその土地を見て回るというのとはちょっと違うんですね。ここに成田家の武将がいたのかとか、本丸跡だったら、ここにいるの、騒いだりなんかしていたんだろとか、そういうイメージを膨らませながら見るので、ただ行田に来るだけで何か感動があるんですよ。例えば、丸墓山から忍城までの距離は、史料を読む限りではあまりないんじゃないのかなというイメージ

をしていたんですね。ところがかなり遠くの方に御三階櫓が小さく見えたので、そこを水攻めするぐらいの堤防を造るのって、どれだけ壮大なんだよと驚きでしたよね。それから、忍城の周辺にも戦国時代の忍城をしのばせるようなところがあって、諏訪曲輪なんて、いいのが残っていたなというのはありましたね。



石田堤

和田 行田は、古墳をはじめ大昔の物があるし、昔、城下町だった雰囲気があるんですね。その空気感みたいなのが、行田の魅力の一つじゃないかなっていい

うに思いますね。突如、できた都市じゃなく、何百年もかけて磨きあげたようなものが、いかにも昔からあった城下町の雰囲気を出しているなという感じはしますね。

市長 そうですね。市街地を見ても非常に道が狭くて、城下町独特のまちのつくりが残っています。雰囲気として感じるというのは、そういうところかもしれないですね。



映画撮影と行田の盛り上がり

市長 映画の撮影も昨年11月に克蘭クアップを迎えたと聞きましたが、和田さんは撮影現場をご覧になったそうですね。

和田 僕は脚本家として現場に臨むので、「ちゃんとやっているんだろっな」というほうがどちらかというときいいますね。だから、見に行ったら感動しましたっていうんじゃないんです。「監督、ちゃんと

カット割りしているんだろっな」とか、「勝手に脚本変えてないんだろっな」とか、そういうようなことをリアルに感じながら見えていますね(笑)。

市長 私も10月に京都での撮影の際にお邪魔しました。監督や俳優たちと話をする機会があり、皆さんの情熱というか熱いものを感じました。撮影現場を目の当たりにして、本当にこれはいい映画だ、絶対ヒットすると確信しました。念願であった市内での映画ロケもあり、多くのエキストラやボランティアの方々が、生き生きとした表情で撮影に臨んでくれました。

和田 苫小牧のロケで合戦シーンを撮ったんですけど、アクションシーンというのは、通常のシーンよりも細かく撮るので、すごく時間がかかるんですね。あまりにも大変で、スタッフもくたくたになっていたらしいんです。撮った映像をつないだらッシュというのを、ホテルなどで見るんですけど、それを見た正木丹波守役の佐藤浩市さんがスタッフの士気を鼓舞するため、「スタッフに見せなきゃだめだ」と言っていたらしいんです。つまり、そのくらいいいラッシュが出たんですよ。僕は基本的に全部文句を言うから、僕には見せないようにしているの、見ていいんですけど(笑)、本当の意味でちゃんとしたものを撮っているんだと思います。



さきたま古墳公園でのロケ風景

市長 今年秋の公開が待ち遠しいですね。映画化によって行田の歴史ストーリーがスクリーンに映し出されて、全国に向けて行田の魅力が発信されるわけで、市内ですでに「のぼうの城」の効果が出てきているんです。最近、行田を訪れる人が増えたり、テレビなどのメディアが頻りに行田を取り上げてくれたりして、まさに活力が出てきました。「忍城おもてなし甲冑隊」を結成し、忍城址を中心に市外へ積極的に出向き行田のPRを行っているし、商店会連合会でも小説の主な登場人物を「忍城の精鋭五人衆」としてキャラクターデザインしたり、独自のイベントを開催したりして、いろいろな面



で、二重、三重の効果が出てきています。
和田 行田は、「のぼうの城」効果だけじゃないと思うんですけど、僕の小説を読んで、行田に来てくれる人がいるとしたら、それは作家冥利に尽きますね。そういう現実があるのは、すごくうれしいですね。

市長 「のぼうの城」をきっかけにして、まちに活力が出てくれば、こんな素晴らしいことはないと思っています。これを一過性のものにしたくない。リピーターに何回でも来てもらって、行田の良さを知ってもらいたいと考えています。この

千載一遇のチャンス逃すことなく、さらに行田のPRを加速していきますよ。

ウェルカムな雰囲気でもちづくりを

市長 行田のまちづくりについて、和田さんの考え、アドバイスなどあればお聞かせください。

和田 今の盛り上がりを一過性のものにしていないというのは、まさにそのとおりだと思いますね。建物などのハードに頼りすぎた観光客や見物人の誘致というのは、賛成できませんね。人間っていうのは、まちに活気があると来るんですよ。活気のある雰囲気であるとか、来て気持ちよかったなとか、行田市民ってすごくいい人だったなとか、そういうようなことで人はもう一回来ようと思うので、そういうソフト面を重視した今後の展開を考えてはどうかなと思いましたね。

市長 まず、行田の市民が、郷土愛に目覚めることが大事だと思います。実はこの小説のおかげで、市民がその郷土愛にもう目覚め始めているんですよ。これがまさにソフトの部分だと思います。そこで、8万7千人の市民総ガイド化を考えています。すべての市民の方が、観光客などから「このまちはどういうまちなんですか」と聞かれたときに「こういう歴史があるんですよ」と答えられるようにしたいんです。そうすると観光客との距

離がぐっと近くなる。それを目指しています。おもてなしという面でも大切ですし、それが郷土愛にもつながると思います。これからは、郷土愛をキーワードにまちづくりを進め、行田のまちをさらに元気にしていきたいと考えています。



和田 旅に行くと、もう一回行きたいなあって思うのは、やっぱり、そのまち全体がなんとなく、ウェルカムな雰囲気があるというところなんです。市民総ガイド化なんて、まさにそうだと思いますけど、気持ちよく教えてくれるとか、そういうようなことがあれば、また来たいなと思うので、そういう「ウェルカムな雰囲気」を醸し出している市になってほしいなと思います。

市長 まさにそのとおりだと思います。映画が公開されると、行田を訪れる観光客が増えることが見込まれます。そのときは市民の皆さんと一緒に、おもてなしの心で観光客をお迎えすることが

大切です。行田を訪れた方に、行田を好きになってもらい、2度、3度と足を運んでもらいたい。そうすることで、まちに活力とにぎわいが生まれます。世の中に閉塞感が漂っている中において、行田は今、比較的明るい話題が多く、市民の皆さんもさらなるまちの発展を大いに期待しています。こうした機運を生かして、和田さんのおっしゃる「ウェルカムな雰囲気」のあるまちを目指していきたいと思えます。今日はとてもいいアドバイスをいただきました。ありがとうございました。

和田 ありがとうございます。

和田竜さんサイン入り「のぼうの城」文庫本プレゼント

和田竜さんの直筆サイン入りの文庫本を上下巻セットで1人に、サイン色紙を3人にプレゼントします。希望する方は、住所、氏名、電話番号、市報ぎょうだの意見・感想を記入のうえ、2月28日(月)までにはがきまたはEメールで広報広聴課新春特別対談プレゼント係

【郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5
 【Eメール】koho@city.gyoda.lg.jp
 なお、発表は発送をもってかえさせていただきます。



市民税・県民税、所得税申告相談

～2月9日(水)から3月15日(火)まで市内11会場で実施します～

市民税・県民税の申告は、前年1年間の所得に対する税額を適正に算出するための課税資料として、申告書の提出をしていただくものです。また、所得税の確定申告も併せて受け付けられますので、日程および会場を確認のうえ、ご利用ください。

平成23年度 市民税・県民税申告相談開催日程

(受付時間：午前9時30分～午後4時)

期 日	会 場	地 区
2月 9日(水)	太井公民館	西新町、壱里山町、清水町、門井町1丁目、深水町、押上町
10日(木)		門井町2・3丁目、棚田町1・2・3丁目
14日(月)	持田公民館	持田1・2・3・4・5丁目
15日(火)		大字持田、前谷、駒形1・2丁目
16日(水)	太田公民館	藤原町1・2・3丁目、若小玉、藤間
17日(木)		下須戸、小針、関根、真名板
18日(金)	総合福祉会館 「やすらぎの里」	須加、下中条
21日(月)		北河原、酒巻
22日(火)	長野公民館	桜町1・2・3丁目、富士見町1・2丁目
23日(水)		大字長野、長野1・2・3・4・5丁目
24日(木)	中央公民館 〔「みらい」内〕	大字佐間、佐間1・2・3丁目
25日(金)		旭町、向町、緑町、下忍、堤根、樋上
27日(日)		全 地 区
28日(月)	埼玉公民館	埼玉
3月 1日(火)		野、渡柳、利田
2日(水)	〔グリーンアリーナ〕 2階研修室	谷郷1・2・3丁目
3日(木)		大字谷郷、栄町、斎条、和田
4日(金)		上池守、下池守、皿尾、中里、小敷田
7日(月)	荒木公民館	荒木、小見、白川戸
8日(火)	南河原公民館	犬塚、馬見塚、中江袋
9日(水)		南河原
10日(木)	商工センター	大字忍、忍1・2丁目、本丸、矢場1・2丁目、行田、宮本、中央
11日(金)		城西1・2・3・4・5丁目、天満、城南
14日(月)		全 地 区
15日(火)		

- ・総合福祉会館「やすらぎの里」およびグリーンアリーナは、平成23年度から新規の会場となりますので、ご注意ください。
- ・市役所税務課窓口での申告相談は受け付けていません。
- ・各地区会場で都合のつかない方は、他の会場でも受け付けできます。
- ・申告内容によっては、税務署に相談していただく場合があります。

市民税・県民税の申告

市民税・県民税の申告が必要な方

1月1日現在、本市にお住まいの方で、所得があった方は、原則申告が必要です。ただし、次の方は申告不要です。

① 所得税の確定申告をする方

② 給与所得者で勤務先から市に給与支払報告書が提出され、その給与所得以外に所得のない方

③ 合計所得金額が28万円以下の方

※所得のない方や③に該当する方でも、

税務関係証明書が必要となる場合や、

国民健康保険税、後期高齢者医療保険

料の軽減を受ける場合には、申告をし

ていただく必要があります。

◎ 次のような所得税の確定申告の内容によっては、市の申告相談で受け付けることがありません。その場合は、行田税務署で確定申告をしてください。

③ 会社などにお勤めの方は、源泉徴収票

申告相談にお持ちいただくもの

① 印鑑

② 平成22年1月から12月までの収支計算の分かる書類

③ 会社などにお勤めの方は、源泉徴収票

(原本)

④ 社会保険料、生命保険料、個人年金保険料、地震保険料、国民年金保険料、国民健康保険税、介護保険料などの払込証明書

農業所得の申告省略を選択した方へ

平成18年11月に行った「農業所得に関するお尋ね」で「所得はありません」または「農業所得は0円として申告します」を選択された方も、平成22年中の農業収入が経費金額を超える場合は「収支計算による申告」が必要となりますのでご注意ください。なお、昨年1年間の収入金額から必要経費(支出金額)を差し引いた残額が所得金額になりますので、収入・支出それぞれを集計のうえ申告してください。

その他

○ 医療費控除の申告をされる方や事業・農業所得などを申告される方は、金額や収支の内訳などの集計を事前に済ませてお越しください。
○ 「市民税・県民税申告書」が必要な方は郵送しますのでご連絡ください(申告会場にも申告書は用意しています)。
○ 期限間近になると大変混雑しますので、早めの申告をお願いします。

▼ 市民税・県民税についての問い合わせ
税務課市民税担当(内線231・232)

税務署からのお知らせ
所得税および消費税の確定申告をする方へ

所得税の確定申告とは

所得税の確定申告は、1月1日から12月31日までの1年間に生じたすべての所得と、その所得に対する所得税の額を計算し、申告期限までに確定申告書を提出して、源泉徴収された税金などの過不足額を精算する手続きです。

消費税の確定申告とは

前々年の課税売上高が1千万円を超える個人事業者の方は、消費税の納税義務者(課税事業者)となり、翌年の3月末日までに確定申告書を提出することとなります(平成22年分消費税の確定申告については、平成20年の課税売上高で判断します)。

平成22年分の所得税および消費税の確定申告

行田税務署では、平成22年分の所得税の確定申告の相談および申告書の受け付けを、3月15日(火)まで、消費税については3月31日(木)まで行います。

なお、「青色申告決算書の作成」「収支内訳書の作成」「医療費控除の領収書の集計」などは、事前に準備してください。

また、期限間近になると大変混雑しますので、早めの申告をお願いします。
※行田税務署は駐車場が限られています

ので、車での来署はご遠慮ください。

納税は口座振替・還付金は口座振込で

納税は、安全・便利・確実な振替納税の利用をお勧めします。また、還付金の受け取りは、銀行口座への振り込みが便利です。なお、振替納税および還付金の受取口座は、本人名義の口座に限られます。

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」のご利用を

「確定申告書等作成コーナー」の画面案内に従って金額などを入力すれば、税額などが自動計算され、所得税や消費税の申告書、青色申告決算書、収支内訳書などが作成できます。

また、電子申告(e-tax)の事前準備がお済みの方は、作成した申告書などのデータを自宅から税務署に送信できます。

お知らせはがき(通知書)の送付

平成21年分の所得税・消費税確定申告書を税務署のパソコンを利用して申告した方、国税庁のホームページを利用して書面出力により申告した方、青色申告会を通じ派遣税理士による代理送信で申告した方は、申告書などが送付されない代わりに「利用者識別番号」や「予定納税

e-Taxは便利!

- ① 国税庁ホームページから電子申告
- ② 最高5,000円の税額控除
- ③ 添付書類を提出省略
- ④ 還付金がスピーディー

国税庁ホームページ 確定申告書等作成コーナー

詳しくは、[イータックス](http://www.e-tax.nta.go.jp)で検索

額」などを記載した「お知らせはがき」を送付します。
お知らせはがきが届いた方で、確定申告相談会場などにて申告書を作成・提出される場合は、必ずこのはがきを持参してください。

日曜日の相談について

行田税務署では、今年の確定申告期間中、2月20日・27日の日曜日に限り、熊谷税務署と合同で確定申告書用紙の配布、申告相談、確定申告書の受け付けおよび納付相談を行います(現金納付の窓口業務は行いません)。なお、この2日間の申告相談などの会場は熊谷税務署となり、行田税務署での業務は行いませんのでご注意ください。

※駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ

行田税務署 ☎556-2221(自動音声案内)

平成22年度

税に関する中学生の作文の入選作品

次代を担う中学生の皆さんから税に関する作文を募集したところ、行田税務署管内で4千903件にのぼる応募がありました。市内からは次の方々が入賞しましたので紹介します。

(順不同・敬称略)

関東信越国税局管内納税貯蓄組合連合会長賞

税の恩恵

西中3年 鈴木 秋穂

埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

続けて欲しい海外派遣研修事業

長野中2年 岩崎 里衣

行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

金賞

ありがとう！税金

西中3年 富田 奈菜

行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

銀賞

税金の大切さと重さ

見沼中2年 飯田 恵美

行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

銅賞

私たちの暮らしと税金

長野中3年 島崎 碧

税金について

長野中2年 多田美奈穂

教科書の裏に

西中3年 塩沢美紗子

税金、とわたしたち

太田中3年 島田 麻代

税金のありがたさ

忍中3年 澤野 有希

日本が元気でありつつけるには

見沼中2年 栗原 舞弓

行田税務連絡協議会長賞 佳作

私にできること

長野中3年 五十幡琴美

身近な税金

南河原中3年 岸田 梨沙

行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

入選

税金の役割

行田中3年 藤沼 奈々

初めて知った税金の大切さ

埼玉中3年 高橋 茉莉

▼問い合わせ

行田税務署 ☎5556-2121 (自動音声案内)

軽自動車やバイクなどの廃車・変更の届け出をお忘れなく

軽自動車・バイクなどにかかる税金は、毎年4月1日現在の所有者（登録名義人）に課税されます。次のようなときは、必ず届け出をしてください。

- 売買や譲渡により所有者が変わった ○市外へ転出した ○車両を入れ替えた
- 所有者が死亡した ○ナンバーが付いているが壊れてもう乗ることはない車両を所有している ○車両を盗まれてしまい、今は所有していない

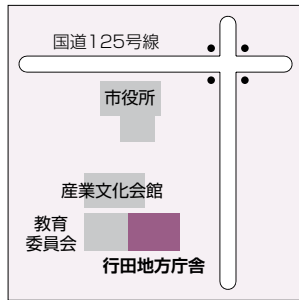
車種	届け出に必要なもの	届け出・問い合わせ
原動機付自転車 (125cc 以下のもの)	名義変更 → 新名義人の印鑑 標識交付証明書 譲渡証明書	・ 税務課市民税担当 (内線 235)
行田市・南河原村 ナンバーの車両	廃車 → ナンバープレート 名義人の印鑑 標識交付証明書	
小型特殊自動車 (農耕用トラクターなど)	①検査登録事務所には 廃車 → ナンバープレート 自動車検査証 印鑑など	※検査登録事務所と税務課の両方へ届け出が必要です ・ 関東運輸局熊谷自動車検査登録事務所 ☎ 532-8122 ・ 税務課市民税担当 (内線 235)
	②市役所には 名義変更 → 自動車検査証返納済証 譲渡証明書 新名義人の印鑑 廃車 → 自動車検査証返納済証 名義人の印鑑	
その他の二輪車 (125cc を超えるもの)	名義変更 廃車 → 手続きの種類により必要書類が異なりますので届け出先に問い合わせください	・ 関東運輸局熊谷自動車検査登録事務所 ☎ 532-8122
軽自動車 (三・四輪車)	住所変更	・ 軽自動車検査協会埼玉事務所熊谷支所 ☎ 574-1662

▶ 問い合わせ 税務課市民税担当 (内線 235)

都市整備部と建設部が地方庁舎に移転しました

12月から、都市整備部（まちづくり推進課、開発指導課）、建設部（管理課、道路治水課、建築課、用地課）と市営住宅入居サービスセンターは、埼玉県行田地方庁舎で業務を行っています。

移転した各課への連絡は、次の直通電話（ダイヤルイン）をご利用ください。



- 埼玉県行田地方庁舎 3階
 - ・まちづくり推進課 ☎550-1550
 - ・開発指導課 ☎550-1551
 - ・用地課 ☎550-1555
- 埼玉県行田地方庁舎 2階
 - ・管理課 ☎550-1552
 - ・道路治水課 ☎550-1553
 - ・建築課 ☎550-1554
 - ・市営住宅入居サービスセンター ☎552-0999

※市役所の代表番号(556-1111)も今までどおり利用できます。担当部署が分からないときは代表番号を利用してください。

▶問い合わせ 企画政策課政策担当（内線311）

あなたの手で日本一の田んぼアートへ 田植えボランティアに登録しませんか

古代蓮の里東側の水田を舞台に色彩が異なる複数の稲を植え付け、文字や図柄を表現する「田んぼアート」。昨年、約1.3ヘクタールだった面積を、今年は約2.8ヘクタールに規模を拡大し、日本一の「田んぼアート」を目指します。

そこで、図柄部分の田植え作業に従事していただく田植えボランティアを募集します。なお、一般募集による田植え参加者へのお知らせは後日行います。

- ▶作業日時 毎年6月の第2土・日曜日(予定)の午前中
※土・日曜日のいずれかの班に分かれた作業
- ▶内容 図柄部分の田植え(手植え作業)
- ▶対象 高校生以上の方(市内外問わず)
- ▶定員 200人
- ▶特典 市内温泉施設入浴券1枚、古代蓮会館招待券2枚、弁当を作業終了後に配布
- ▶その他 田植え足袋は事務局で用意します。保険に加入しますが、交通費および謝礼の支払いはありません。
- ▶申し込み・問い合わせ 1月4日(火)～2月28日(月)に電話・FAX・Eメールのいずれかの方法(住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記載)で田んぼアート米づくり体験事業推進協議会(農政課内・内線386)【FAX】556-4933 【Eメール】nosei@city.gyoda.lg.jp

平成23・24年度行田市物品売買等の競争入札参加資格審査申請を受け付けます

平成23・24年度の競争入札参加資格審査申請の受け付けを次のとおり実施します。

- ▶日時 2月1日(火)～28日(月)(土・日曜日、祝日を除く)午前9時30分～11時30分、午後1時30分～4時
- ▶場所 B9会議室(市役所地下)
- ▶受付業務 物品売買等(建設資材を含む)、建築物管理
- ▶申請に係る手引き・申請書の入手方法
手引き・申請書は、市ホームページからダウンロードできます。※窓口での配布は1月14日(金)から
- ▶有効期間 6月1日から2年間
- ▶その他 申請される方は、手引きにより申請書類および添付書類を提出してください。なお、建設工事、設計・調査・測量、土木施設維持管理業務の受け付けは終了しました。
- ▶問い合わせ 契約検査課契約担当(内線213・214)

いのちを守る森づくり国際シンポジウム ～都市にいのちの森を～

これまで、未来を担う豊かな人間性を持った子どもの育成、地球環境・自然環境の再生に向けて開催してきた親子植樹祭。今回、植樹祭で指導いただいた宮脇昭さん(横浜国立大学名誉教授)、またドイツ・中国から2人の先生を招き、今後の森づくりの一層の推進を目指して「いのちを守る森づくり国際シンポジウム」を開催します。



- ▶日時 2月6日(日)午後1時開演
- ▶場所 「みらい」文化ホール
- ▶内容 【第1部】 宮脇昭さん、リチャード・ポットさん(ドイツ・ハノーバー大学教授)による基調講演
【第2部】 親子植樹祭に参加した児童・生徒による作文発表
【第3部】 パネルディスカッション
《テーマ》「都市にいのちの森を」
- ▶入場料 無料 ※要入場整理券
- ▶定員 500人
- ▶整理券配布 1月7日(金)から中央公民館、各地域公民館、南河原支所およびまちづくり推進課で配布
- ▶主催 行田市森づくり環境再生実行委員会
- ▶その他 会場内に親子植樹祭についての子供たちの絵と植樹スナップ写真を掲示します。
- ▶問い合わせ 同実行委員会事務局(まちづくり推進課内)☎550-1550

新成人 二十歳の抱負 が語る

平成23年行田市新成人を祝う会実行委員会

実行委員長 齊藤 大さん



私自身の20年間を振り返ってみると、本当にあつという間に過ぎてしまったように感じます。でも、こう感じられるのはそれだけ充実した生活を送ってこられたからです。

20歳を迎えた今、私たちは金銭面での「自立」だけでなく、精神的にも「自律」した自分をつくっていく必要があります。しかし、節目を越えてはみたものの、まだ社会から「大人」という扱いに慣れない自分がいることも事実です。また、そんな自分を急に変えるというのも難しいことだと思えます。その中で私は「自分らしさ」を大切にしていきたいと考えます。たとえこれから乗り越えることが大変な問題に直面したとしても、自分ができる最大の努力をして「気付き」そして「感じる」気持ちを持って考え続ければ、打開策を見いだすことができると思っています。

これからいろいろな経験をする中で、いつでも自分を見失うことなく、笑って次の大切な節目の時を迎えられたらと思います。

「いま・ここを大切に、自分らしく熱く生きる」私が普段から大切にしている言葉です。育ててくれた両親・家族そしてわがふるさと行田に恩返しをしながら、誰からも信頼される人間に成長できるよう、自分らしくやる気を持って、コツコツ努力し続けます。

副実行委員長 渡邊 佳奈さん



今年私たちは成人の日という大きな節目を無事に迎えられることを心よりうれしく思います。成人の日を迎えるに当たって、特に私たちを応援し続けてくれた両親・家族には感謝の気持ちでいっぱいです。

この20年間たくさんの人との出会いや経験の中で、自分が大きく成長できたことを実感しています。うれしいことや楽しいこともある中で、つらかったことや思ったようになくいかなかったこともありましたが、そんなときに支えてくれた先生や友達そして両親。この20年間で得たものは、これから先も自分の大きな糧となり自分を支える大きな力になると思います。

大人になった私たちがこれからしていくべきことは、お世話になった方たちへ感謝の気持ちを伝え、恩返ししていくことだと思います。目の前の目標を達成すること、自分の夢をかなえること、そうした自分の成長をする姿を見せることも一つの恩返しだと思います。さまざまな環境の変化の中で周囲のいい影響や刺激を受けながら、自分らしさを忘れずにこれからを歩んでいきたいです。

ご存じですか 教育振興奨励金

市では、市内で教育振興に沿った活動を行っている個人や団体の皆さんを対象にした奨励金を交付しています。

▼申請期間 2月1日(火)～18日(金)

▼対象

①学校教育関係(学校教育の充実、向上について調査・研究をする場合)

②社会教育・社会体育関係(社会教育、スポーツ活動および青少年の非行化防止活動の充実・向上のための事業)

▼交付限度額

①学校教育関係

【個人】5万円 【団体】10万円

②社会教育・社会体育関係

【個人】5万円 【団体】20万円

▼申し込み・問い合わせ 教育総務課

務担当 ☎556-8311

ご利用ください 就学援助費

経済的な理由により就学が困難な小・中学校児童・生徒の保護者の方に、就学費用の一部を援助しています。お困りの方は、ご相談ください。

▼対象

①市民税が非課税の世帯
②児童扶養手当(子ども手当とは異なる)

ります)を受給している世帯
③その他、経済的に就学援助費が必要と認められる世帯など

▼援助内容

学用品費、給食費、修学旅行費、医療費など ※詳細は市ホームページをご覧ください。

▼相談・申請・問い合わせ 教育総務課

財務施設担当 ☎556-8311

小・中学校の指定学校変更

市では小・中学校の通学区域について規則で定めていますが、次に該当するときは、保護者の申し立てにより、指定した就学校を変更することができる場合があります。

▶区域外就学（指定学校変更）許可基準

No	願出の種類	該当学年	許可基準	許可期限	添付書類
1	最終学年	小学6年 中学3年	最終学年途中で転居・転出し、通学上および指導上支障がない場合。	卒業まで	—
2	学期途中	小学1～5年 中学1～2年	学期途中で転居・転出し、通学上および指導上支障がない場合。	学期末まで	—
3	住宅新築および 転居予定	全学年	家屋登記、住宅ローンなどの融資手続きのため住民票のみ異動した場合。 自宅の新築およびマンション・アパートの入居などによる転入、転居予定があり通学に支障がない場合。	入居予定日まで	建築確認書 工事請負契約書 売買契約書 賃貸契約書
4	両親共働きなど 留守家庭	小学校全学年	保護者が共働きなどにより留守になる家庭で、祖父母などの家から就学する場合、その通学区域。	事由の存する期間 (年度更新)	勤務証明書 営業証明書
5	身体的および 精神的理由	全学年	身体的理由で、通学途中の安全確保のため、指定通学区域外の学校に就学する場合。 登校拒否が客観的に予想される場合。	事由の存する期間	医師の証明書 学校長の意見書
6	家庭の事情により、住所異動 ができない方	全学年	市内に居住していることが証明された場合、通学区域内の学校へ就学。	住民登録が行われる まで	賃貸契約書 居住証明書(民生児童委員など)
7	特別支援学級 に入級する方	全学年	就学指定校に該当する特別支援学級がない場合。	就学指定校に該当する特別支援学級が設置されるまでの期間	—
8	地域の事情	全学年	教育委員会が、指定校の変更を認めている地域。(許容地域)	卒業するまで	—
9	その他	全学年	上記以外で、特別の事情がある場合。	適切と判断する期間	その都度必要とする書類

▶指定学校を変更することができる場合の手続き

平成23年度に入学する方については、保護者から就学すべき学校の変更願を2月18日(金)までに提出してください。教育委員会による審査後、変更承諾書を交付します。(そのほかの方については、随時受け付けます)

▶相談・申請・問い合わせ 教育総務課庶務担当 ☎556-8311

入学準備金を貸し付けます

市では、高校・大学などへ入学を希望する方の保護者に対して、経済的負担の軽減を図るため、入学準備金の貸し付けを行っています。

▼申請期間 2月1日(火)～18日(金)

▼対象 市内に6カ月以上居住し、市税を完納している方

▼貸付金額

①大学、短大および専門課程を置く専修学校の場合：30万円

②高校、高専および高等課程を置く専修学校の場合：20万円

▼申請時に添付する書類

在学または出身学校長が大学・高校などの長に提出する調査書の写し、家庭調査、住民票謄本

▼貸付決定後に提出する書類

借用書(保証人が必要)、入学許可書

▼返還方法

3カ月を据え置き、大学については50カ月以内、高校については35カ月以内で毎月の分割払い。

▼申し込み・問い合わせ 教育総務課庶務担当 ☎556-8311



行田市民大学 第3期生を募集します

基本理念

希望に満ち、活気あふれる、明るいまちづくりには、市民一人ひとりが「志」を持って自ら学ぶことにより、見識を高め、能力を磨いて、自主的に行動することが求められています。

市民大学は多くの市民の方に、生涯学習の場を提供し、一人ひとりが輝き、豊かな地域社会づくりに貢献することを目的とします。

- 「自ら学ぶこと」は、たのしいことです。
- 「共に学ぶ仲間に出会えること」は、うれしいことです。
- 「学んだことを日々の暮らしや地域社会に活かすこと」は、すばらしいことです。

基本目標

1. 生涯学習と自己啓発による生きがいづくり
2. 出会い・交流・仲間づくり
3. 地域社会に役立つまちづくり
4. 市民と大学や地域との連携づくり

募集要項

- ▶ **修学期間** 4月から2年間
- ▶ **時間** 午前（毎水曜日）
- ▶ **場所** ものづくり大学（予定）
- ▶ **応募資格** 16歳以上で、原則市内在住・在勤の方
- ▶ **募集人数** 50人（定員を超えた場合は抽選）
- ▶ **学費** 年間15,000円（期日までに振り込み）
※視察ツアーは別途負担あり
- ▶ **応募方法** 市役所、教育委員会、各公民館などに用意してある所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、2月21日(月)までに持参・郵送・FAXのいずれかの方法でひとつくり支援課に申し込みください。
【持参・郵送】〒361-0052 行田市本丸2-20
【FAX】556-0770
- ▶ **入学決定** 2月28日(月)までに応募者へ結果を通知します。
- ▶ **問い合わせ** 同課生涯学習担当 ☎556-8319



講座予定

回	内 容
1	入学式
2	郷土の歴史を学ぶ（成田氏の出自と忍城時代）
3	郷土の歴史を学ぶ（徳川天下統一後の忍城）
4	郷土の歴史を学ぶ（古墳時代）
5	郷土の地形と成り立ち
6	郷土の歴史や文化財ツアー
7	郷土の歴史を学ぶ（足袋産業と被服）
8	文化財を活かしたまちづくり
9	自然再生事業の課題
10	郷土輩出の偉人とその足跡
11	郷土の風習と文化を学ぶ
12	世界と日本の環境問題
13	郷土の自然視察ツアー
14	「行田の未来」パネルディスカッション
15	まちの活性化を考える
16	少子高齢化社会を日本はどのような方策で生き抜こうとしているか
17	介護の実態と福祉
18	グループ研究の中間報告
19	デジタル社会への対応
20	身近な法律
21	グループ研究成果発表
22	修了式

※講座の順序や内容は都合により変更する場合あり

▼問い合わせ 557-1156
同協議会事務局 國島宅 ☎



光通信サービスの提供についての報告書が手渡されました

市内557局地域に光通信設備を整備しようと北部地域高速通信網誘致推進協議会が平成21年2月に発足し、各地区で誘致活動を行ってきました。
これを受けて株式会社NTT東日本埼玉支店が、平成22年度提供に向けて光通信設備の構築準備を進めることを決定。そして、12月6日には、2月1日からサービスが開始になるとの報告書が同協議会に手渡されました。

2月1日から
光通信サービスが開始

今年も子育て サービスがパワーアップ



すべての保育所などに 「感染症予防対策機器」を設置

おととしの新型インフルエンザの大流行を受け、児童福祉施設の安全で快適な環境づくりの推進が求められています。

市では、市内のすべての保育所や学童保育室、児童センターなどにイオン発生器などを設置し、行田の未来を担う子供たちの感染症予防対策に取り組んでいます。



▶問い合わせ

子育て支援課子育て支援担当（内線262）

親子で安心 3人乗り自転車レンタル事業がスタート

市では、子育て家庭が気軽に外出できる環境づくりや、県内でも有数の観光名所を生かした地域の活性化を図るため、次の市内の拠点施設に

「3人乗り自転車」を配置しました。お気軽にご利用ください。

- ・観光案内所(JR行田駅前)
- ・はにわの館
- ・古代蓮の里
- ・郷土博物館



児童センターのトイレが利用しやすくなりました

このたび、児童センターのトイレ改修工事が完了し、幼児用トイレの整備など、子育て家庭がより利用しやすい施設になりました。また、室内の遊具も近々更新します。ぜひご利用ください。

優良産業従業員を表彰

11月19日、本市産業の振興発展に寄与した優良産業従業員を表彰する行田市優良産業従業員表彰式典が市役所で行われました。今年も、同一事業所に30年以上勤務されている次の永年勤続者37人の方々が表彰されました。

（順不同、敬称略）



株式会社アキヤマデザイン

栗原 彪

大野建設株式会社

吉田 英雄

岩崎電気株式会社 埼玉製作所

須藤 トシ江
野村 末子
小田川 徳夫
黒澤 三咲恵
持田 克己
横田 和浩
吉田 栄次
柿沼 正

小川工業株式会社

石井 清司
小川 義雄
栗原 隆司
田島 準一
田中 正司
増田 稔
小林 茂則
斉藤 一美
須永 弘康
池田 一

株式会社オザワ

中島 泰弘

株式会社東京軽合金製作所

加納 啓市
細谷 年一
大沢 幸男
清水 保宏
松本 幸雄

株式会社清水アーネット

金子 忠之

新輝合成株式会社埼玉工場

川野 辺 誠治
角田 博
中島 永守
春田 孝
渡辺 富雄
山崎 時雄
柳原 栄

明和グラビア株式会社 行田工場

木村 重好
佐々木 宏
高橋 三男

▶問い合わせ 商工観光課商工担当（内線383）

新しい民生委員・児童委員

・主任児童委員を紹介します

12月1日、民生委員・児童委員141人、主任児童委員10人が厚生労働大臣および埼玉県知事から委嘱を受け、工藤市長から委嘱状が伝達されました。

今回、委嘱を受けた方は、平成25年11月30日までの3年間、地域福祉の推進者として活躍していただきます。※◎は新任の方

東部地区

番号	氏名	担当地区	電話
1	山田 克江	一桜	556-4824
2	新島 英雄	二桜(秩父鉄道線路より南側)	556-0238
3	松岡 徹	二桜(秩父鉄道線路より北側)	556-4060
4	◎西田 浩子	三桜南部	556-7683
5	中村ツネ子	三桜北部(主要地方道佐野行田線西側)	553-1681
6	◎近江 敦子	三桜北部(主要地方道佐野行田線東側)	554-2466
7	◎小林 定春	桜ヶ丘(主要地方道佐野行田線西側)	556-0602
8	庄司登美子	桜ヶ丘(主要地方道佐野行田線東側)	556-3273
9	◎増野 とく	長野住宅	554-7254
10	◎根岸 玉江	富士見東部	556-5873
11	◎大庭千恵子	富士見中央	554-2702
12	坂本 弘	富士見西部	554-0891
13	◎鈴木スイ子	富士見北部	555-0436
14	内山 幹夫	橋場(1~3組)	554-6611
15	半田 富男	橋場(4~6組)	555-2476
16	大谷 春美	田幡	556-4894
17	小澤チヨ子	林	555-0532
18	鈴木美佐緒	中斉(長野二丁目)	555-2740
19	高澤 上恵	中斉(長野三丁目)	554-2271
20	吉野 紀子	堀の内、つるまき	559-1072
21	◎坂田千鶴子	万願	559-1709
22	◎齋藤 正雄	白山、大下、新田	559-0824
23	有賀すゞ代	藤原町東部	556-8538
24	大澤 良子	藤原町西部	556-0266
25	◎長谷川春子	藤原町中央	554-7311
26	福島 敏子	藤原町南部	554-9258
27	◎藤井さなえ	若小玉勝呂	554-3660
28	柿沼 貴代	若小玉中央	555-1627
29	◎須永 幸子	若小玉六本木、若小玉南部	554-7350
30	中島 伸浩	下須戸(上組、元組、東組、大島)	559-1143
31	◎角田 禮子	下須戸(中郷、須戸橋、間/道、新田、寺浦、刈辺)	559-0181
32	田島 晃	小針(県道上新郷埼玉線より東側)	559-3147
33	酒井 昌美	小針(県道上新郷埼玉線より西側)	556-6897
34	◎松井美枝子	藤間、関根、真名板東	559-3128
35	◎横田 知子	真名板	559-3885
36	◎鈴木 幸江	(主任児童委員)	554-4631
37	◎伊藤 直美	(主任児童委員)	556-7736

北部地区

番号	氏名	担当地区	電話
1	◎佐藤美穂子	一谷郷	554-7709
2	茂木 愛子	柳坪	556-1939
3	西山カツ枝	東台	554-3663
4	根岸ひさ子	二谷郷東第一	555-0247
5	大平 敏江	二谷郷新田(西・北部)	554-0516
6	久米美千代	二谷郷新田(東部)	554-5828
7	内田 高司	三谷郷(北部、薬師堂北側道路より北側)	556-6613
8	高橋 洋子	三谷郷(南部、薬師堂北側道路より南側)	554-4895
9	田島 トモ	二谷郷東第二	554-5839
10	倉林さく恵	飯倉、栄町	554-7257
11	佐藤 久江	東栄	556-2218
12	◎細井 順子	小橋団地	553-5144
13	◎長谷川敏江	春日	556-3044
14	茂木奈賀子	二斎条	557-1827
15	松岡 好子	一斎条、斎条団地	557-1262
16	◎高橋 秀明	一和田、二和田	554-9055
17	◎大塩都代子	上池守、下池守	555-0952
18	◎田子 幸代	中里、皿尾、小敷田	554-4874
19	吉村さなへ	荒木1区、2区	559-1919
20	◎根岸 恭子	荒木3区、9区(白川戸)	554-1489
21	小林 康男	荒木4区、5区、荒木団地	557-1690
22	◎田熊 誠	荒木上宿、6区	557-1006
23	◎野口 修次	荒木7区、8区(小見)	554-0643
24	筑脇 幸子	須加1区~4区(下中条)	557-2484
25	須永 正義	須加5区~8区	557-1606
26	◎高橋 榮美	須加9区~12区	557-2034
27	瀬尾 一郎	上、久保、里前、天袋、立野	557-0445
28	◎中村 洋子	北河原新田、酒巻上・下	557-0563
29	関口フミ子	南河原一区	557-0148
30	保科 正之	在家、中江袋(北部)	557-1936
31	中丸好太郎	南河原二区	557-2273
32	◎中戸 一夫	南河原三区南	557-1951
33	石川恵美子	南河原三区北	550-6058
34	細井 一江	犬塚	557-0303
35	児玉 悦子	馬見塚、中江袋(南部)	557-0285
36	高橋 幸子	(主任児童委員)	553-0076
37	井桁 右子	(主任児童委員)	557-3800

西部地区

番号	氏名	担当地区	電話
1	◎荒井 良夫	菅谷	555-0947
2	◎高津由紀子	一持田(国道125号より北側)	554-3770
3	◎菅野 邦男	一持田(国道125号より南側)、県営持田団地	555-1904
4	加賀谷充枝	二持田第一	555-2872
5	北川 捷	持田五丁目	553-0268
6	◎小澤 光江	持田長町	555-1933
7	◎田口 康子	持田菊野台	555-1589
8	服部 時子	持田砂原(三丁目32、四丁目1、4~13、18~21)	554-6721
9	瀧口 節子	持田砂原(二丁目18、三丁目28~31、四丁目2~3)	554-5737
10	◎荒木 修逸	三井砂原(四丁目14~17、22~36)、持田西	553-0834
11	高松 正実	三持田東部、三持田大宮口	556-1456
12	◎平塚 英子	三持田西部	554-3748
13	◎山本 勝久	前谷	554-7810
14	◎高橋美智代	棚田町一丁目(新幹線より南側)	553-7448
15	和泉みち子	棚田町一丁目(新幹線より北側)、棚田町二丁目	554-8865
16	◎野口 広子	門井町一丁目、ローヤルシティ行田	554-2759
17	中川由美子	門井町二丁目	556-2615
18	中村 晴雄	第三門井(1~15)	554-3394
19	◎松本 一男	第三門井(16~27)	553-2811
20	◎小山 正隆	押上町(南大通より北側)	556-7397
21	◎小川美穂子	押上町(南大通より南側)、門井団地	556-3817
22	◎小宮 武	西新町(7~12班、14~18班)	554-3475
23	丸橋 悦子	西新町(1~6班、13班)	554-2303
24	◎山崎 浩一	棚田町三丁目	553-1023
25	◎中川 知子	深水町	553-0573
26	雲田 武一	壺里山町	554-2478
27	大木 庸子	清水町(1~3番地)	554-9679
28	◎菅谷 光子	清水町(4~14番地)	554-5810
29	渡辺 栄	(主任児童委員)	556-0036
30	◎吉野香代美	(主任児童委員)	553-1041

南部地区

番号	氏名	担当地区	電話
1	加相 和子	大町、一佐間	556-2978
2	島田ユミ子	二佐間(一丁目3、5~9、13~15)	556-7765
3	小田嶋美和子	二佐間(一丁目16~20、26~30)	554-5789
4	山崎 孝子	神明(二丁目2~11)	553-5055
5	井桁 宏治	神明(二丁目12~19)	556-4291
6	◎清岡美代子	三間(三丁目8~10、13~27)	553-1514
7	松島 司郎	三間(三丁目1~7、11、12、大字佐間)	556-1823
8	◎山口 尚美	緑町	554-9251
9	今泉 弘子	向町(1、5、6、16、17、22、23、29)、一向、行田10、天満1	554-1949
10	佐藤マキ子	向町(上記以外、二向)	556-7579
11	渡辺 俊江	旭町(1~8)	554-0998
12	長谷川静子	旭町(9~16)	554-3241
13	大矢 久子	富士山東・西、上埼玉	559-0654
14	松田千江子	百塚	559-1292
15	◎町田ふみ子	片原第一・第二、下埼玉	559-0681
16	◎大野 實	片原第三、杉原	559-4309
17	根岸 正芳	利田、渡柳上・下	559-0930
18	◎生田三枝子	野原、上手、谷端	559-4236
19	◎古山 義信	野中、宿	559-4590
20	◎田島 一秋	下忍	555-0124
21	後藤 芳子	堤根	554-1798
22	◎小河原精子	樋上、下忍団地	556-0737
23	◎中澤左衛子	(主任児童委員)	552-1110
24	◎柴崎登美夫	(主任児童委員)	559-0004

中央部地区

番号	氏名	担当地区	電話
1	◎藤野 礼子	中央、エクセル行田中央	556-2341
2	根岸 君枝	宮本	556-3317
3	◎田高 永三	北谷区東町、北町、南町、蓮華寺	554-1450
4	◎奥田 七壽	二北谷、六ツ門、帯廓	554-2870
5	保住 宏子	本丸	555-2409
6	◎高橋 恵子	一内、二内行田、元町	556-1972
7	武笠 信之	三内行田、大手町	553-2741
8	◎畠山 貞子	一天満、二天満	556-1759
9	松下 道子	矢場一丁目の一部、矢場二丁目	554-4690
10	山岸 直美	田町、上荒井	556-1017
11	◎沼井 秀雄	成田(本丸3~7、18~23、16の一部)	556-7700
12	諏訪岡美智江	城西2丁目	554-4377
13	吉田 勇治	城南	556-3875
14	須郷 和美	駒形、南駒形	554-6623
15	南雲 捷子	西駒形	554-5659
16	長島 益世	二持田第二の一部	554-2556
17	竹村 光子	二持田第二の一部、蔵場	554-6196
18	白根 典子	二持田第二(城西三丁目)	554-7052
19	橋本 恭一	下町、二本町	553-3113
20	樽見 俊行	一本町、新町、八幡町	554-7616
21	◎有馬 和子	矢場一丁目の一部	553-3416
22	◎大木 典子	(主任児童委員)	556-2421
23	千代田 豊	(主任児童委員)	556-2779

福祉分野で表彰を受けた方を紹介します

平成22年度全国社会福祉大会において、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった民生委員が表彰を受けました。

また、第57回埼玉県更生保護大会において、更生保護事業に尽力された功績により、次の方々が表彰を受けました。
(順不同・敬称略)

全国社会福祉大会

全国社会福祉協議会会長表彰 須郷 和美

埼玉県更生保護大会

保護司関係

法務大臣表彰 相原香保留
 全国保護司連盟会長表彰 大沼 榮藏
 関東地方更生保護委員会委員長表彰 荒井 洋治
 関東地方保護司連盟会長表彰 伊藤 泰成
 埼玉県知事感謝状 須加 晃仁
 さいたま保護観察所長表彰 稲岡 達也
 同 小川 哲男
 埼玉県保護司会連合会会長表彰 藤間 建夫
 同 加瀬田 健
 同 廣田 賢也
 同 青木 睦

更生保護女性会関係

さいたま保護観察所長感謝状 島田ユミ子
 埼玉県更生保護女性連盟会長表彰 吉田 妙子

▶問い合わせ 福祉課社会福祉担当(内線264)

▶問い合わせ 福祉課社会福祉担当(内線264)

交通遺児等援護金を 給付します

埼玉県交通安全対策協議会では、埼玉県内に在住する交通遺児等を対象に、援護金を給付しています。

※「交通遺児等」とは、18歳以下の子ども（乳幼児および児童・生徒）で、保護者（一方または双方）が、交通事故により死亡または重い障害を負った方をいいます。

▶支給対象になる同居世帯の総所得額

支給対象の子どもの人数	同居世帯の総所得額
1人	2,740,000円以下
2人	3,120,000円以下
3人	3,500,000円以下
4人	3,880,000円以下
5人以上	4,260,000円以下

- ▶**給付額** 1人年額10万円
- ▶**給付時期** 4月下旬に給付(給付日は未定)
- ▶**申請書類** 防災安全課および各学校などで配付
- ▶**申請方法** 1月31日(月)までに直接または郵送のみずほ信託銀行浦和支店(〒330-0063 さいたま市浦和区高砂2-6-18)
- ▶**問い合わせ** 埼玉県県民生活部防犯・交通安全課 ☎048-830-2958

～2月は電子申請推進月間です～

便利な電子申請・届出サービス



を利用しましょう

行田市電子申請・届出サービス

インターネットを利用し、申請・届け出をすることができるサービスです。埼玉県と県内市町村が共同でシステムを運用し、このサービスを提供していますので、県で行っている「自動車税住所変更届」の手続きや、市で行っている「水道使用開始届」などの手続きも、電子申請・届出サービスのホームページから簡単に申請できます。

- ホームページ <https://denshi.pref.saitama.lg.jp/>

さらに使いやすく

画面が見やすくなり、ID・パスワード制が導入されて仮登録が不要になるなど、以前よりも手軽に申請・届け出ができるようになりました。また、操作に困ったときなどは住民向けのコールセンターがサポートします。

- コールセンター
☎0570-005353または☎092-711-5815
【月～金曜日】午前9時～午後5時
Eメール support@e-tetsuzuki99.com

こんなメリットが

一部の申請手続きや申請書のダウンロードがパソコンから行えますので、窓口での手続きを行う手間が省けます。

24時間365日(メンテナンス時間を除く)利用可能なため、夜間や休日でも申請できます。

通信は暗号化されますのでセキュリティーも安心です。

- ▶**問い合わせ** 広報広聴課情報担当(内線322)
ホームページ <http://www.city.gyoda.lg.jp/11/05/11/densisinsei.html>

雇用保険制度が 変わりました

平成22年10月1日から、雇用保険の加入手続きが漏れていた場合でも、雇用保険料が給与から天引きされていたことが書面により確認できる場合は、2年を超えた期間についてもさかのぼって雇用保険に加入できるようにになりました。

詳しくは、埼玉労働局職業安定課または最寄りの公共職業安定所(ハローワーク)に問い合わせください。また改正内容は厚生労働省ホームページで確認できます。 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/koyouhoken.html>

- ▼**問い合わせ** ハローワーク行田 ☎56-3151

市町村合併に伴う自動車 検査証の住所変更手続き

市町村合併に伴う新住所への変更が反映されていない自動車検査証について、新住所に変更を希望される方は、無料で新住所の自動車検査証を交付します。登録の窓口に自動車検査証を持参のうえ申し出ください。

なお、市町村合併とは別の住居表示変更や土地区画整理による変更などは通常の申請手続きとなります。

- ▼**問い合わせ** 関東運輸局埼玉運輸支局 ☎050-5540-2026

不用品情報

市では、資源の有効利用とごみの減量化を図るため、まだ使えるものの仲介を行う不用品登録制度を実施しています。品物は無料。登録期間は3カ月です。

◎さしあげます

- ▽シングルベッド
- ▽ひな人形
- ▽洋式用補助便座(大人用)
- ▽CDラジカセ
- ▽クーラーボックス
- ▽ソファ(コーナー用5個)
- ▽子ども用一輪車(小学生用)
- ▽本棚
- ▽ローテーブル
- ▽石油ファンヒーター
- ▽セミダブルベッド用マットレス
- ▽電子オルガン
- ▽学習机
- ▽ピアノ
- ▽パイプベッド
- ▽冷蔵庫
- ▽ミキサー

◎ゆずってください

- ▽家庭用小型管理機
- ▽電子ピアノ
- ▽ガステーブル(プロパン用)
- ▽ホームベーカー
- ▽地デジ用UHFアンテナ(室内用)
- ▽天体望遠鏡
- ▽ベビーカー(A型)
- ▽スタッドレスタイヤ(12インチ)
- ▽食卓テーブル(いす4脚)
- ▽ゴルフ用具一式(左利き用)
- ▽ベビーベッド
- ▽ホットカーペット
- ▽ラミネーター
- ▽自転車チャイルドシート(後用)
- ▽そば打ちセット
- ▽ハロゲンヒーター
- ▽子ども用すべり台
- ▽子ども用タンス
- ▽自転車(大人・折りたたみ)
- ▽いす
- ▽チャイルドシート(車用)

▼問い合わせ 環境課環境業務担当

- ☎556-9530
- FAX553-0792

保 健 案 内

保健センター
 長野 2-3-17
 TEL : 553-0053
 FAX : 555-2551

子どもの健康

乳幼児健診

名 称 4カ月児健診、1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診
そ の 他 転入されたお子さんで、前住所地で受診していない方は保健センターへご連絡ください。

BCG予防接種

①受付日時 1月19日(水)午後1時30分～2時20分
対 象 平成22年10月1日～15日生まれのお子さん
 ②受付日時 2月7日(月)午後1時30分～2時20分
対 象 平成22年10月16日～31日生まれのお子さん
 ①②とも対象児以外でまだ受けていないお子さん(6カ月未満)は、この機会に受けてください。

乳幼児相談 (要申し込み)

受付日時 2月2日(水)午前9時30分～11時30分
対 象 小学校入学前のお子さん

離乳食教室 (初期) (要申し込み)

受付日時 2月2日(水)午前10時15分～10時30分
対 象 平成22年8月15日～9月14日生まれのお子さんがある方

※いずれも場所は保健センター

おとなの健康

こころの相談 (要申し込み)

日 時 1月20日(木)
 ※時間は申し込みの際にお知らせします
対 象 いつも不安、夜眠れない、生活のリズムが乱れている、自分の性格や人間関係に悩んでいる、飲酒量が多くやめられないなど、こころに悩みのある方
そ の 他 随時、電話での相談もお受けします。

※いずれも場所は保健センター

健康講座⑩

肺炎予防と救急処置の仕方を知ろう

乳児や高齢者は、肺炎になっても高熱が出ないことがあり、早期発見につながらないことがあります。普段からどのようなことに気を付けたらよいか、医師から学びます。

また、家族や周囲の方が急に倒れたり、意識を失ったりしたときに、慌てず適切に対応できるよう、救急処置の仕方を救急隊員から学んでみませんか。

日 時 2月21日(月) 午後1時45分～4時30分
場 所 保健センター
内 容 ・川島治さん(行田中央総合病院院長)による講話
 ・救急隊員による救急処置の講話と演習
対 象 市内在住で健康に関心のある方
定 員 30人(先着順)
持 ち 物 筆記用具、健康手帳(お持ちの方)
申し込み 1月17日(月)から直接または電話で保健センター



休日急患診療



期 日	医療機関名	期 日	医療機関名
1月16日(日)	行田中央総合病院	2月 6日(日)	行田中央総合病院
1月23日(日)	壮幸会行田総合病院	2月11日(金)	壮幸会行田総合病院
1月30日(日)	行田中央総合病院	2月13日(日)	壮幸会行田総合病院

- ・診療科目……内科、小児科、外科
- ・診療時間……午前10時～午後5時
- *医療機関が変更されることがありますので、事前に問い合わせください。
- ・行田中央総合病院 ☎553-2000
- ・壮幸会行田総合病院 ☎552-1111
- ◇夜間などの急病やけがで受診できる医療機関を知りたいとき
- ・行田市消防署 ☎556-2090
- ・埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199
- ◇埼玉県小児救急電話相談「#8000」
- ・県内どこからでも「#8000」をプッシュすると相談窓口につながります。(携帯電話可)
- ・相談時間【月～土曜日】午後7時～11時
 【日曜日、祝日】午前9時～午後11時

予防接種はお済みですか

予診票のない方は母子健康手帳持参のうえ保健センターにお越しください。

予防接種名	対 象	定期接種の期限 (無料で接種できる年齢)
三種混合(初回3回、追加1回)	生後3カ月から	7歳6カ月未満
二種混合	11歳から	13歳未満
麻しん風しん混合予防接種【第1期】	1歳から	2歳未満
麻しん風しん混合予防接種【第2期】	平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの方	3月31日まで
麻しん風しん混合予防接種【第3期】	平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれの方	
麻しん風しん混合予防接種【第4期】	平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれの方	
日本脳炎予防接種【第1期】(初回2回、追加1回)	3歳から	7歳6カ月未満
日本脳炎予防接種【第1期】(初回2回、追加1回)・【第2期】	9歳から	13歳未満

埼玉県新型インフルエンザ相談窓口 (モバイル版)を開設

埼玉県では、新型インフルエンザに関する平日夜間や休日の電話相談に対応する窓口を開設しました。ぜひご利用ください。(3月31日まで)

☎0570-06-9077(IP電話およびPHSからは☎048-822-5979) <http://www.mobile.pref.saitama.lg.jp/?page=6389>



東京電力(株)から 視覚障害者用図書が寄贈



12月13日、東京電力株式会社熊谷支社（小沼俊彦支社長）から行田市へ視覚障害者用図書が寄贈されました。

これは、同社が地域福祉協力活動の一環として行っているもので、昨年に続いて4回目となります。今回は、点字図書10冊、テープ図書17点、大活字図書5冊が工藤市長に手渡されました。

▶問い合わせ 図書館 ☎556-4227

祭り用品の整備などで 地域のコミュニティづくり

野中自治会（松崎重男会長）では、(財)自治総合センターが実施している平成22年度宝くじの助成金を受けて、ささら獅子舞の備品を整備しました。

これは、同センターが地域住民の自主的なコミュニティ活動の促進と自治意識を盛り上げることを目的に助成を行っているもので、同会は今後、これらを使用してコミュニティの活性化を図ります。



▶問い合わせ 生活課市民活動担当（内線251）

くらしの110番情報

個人年金保険の契約はリスクを確かめて

【事例】

銀行に預けていた定期預金が満期になったと知らせを受けた。銀行に行く担当から「よい商品がある」とドル建ての個人年金保険を勧められ、契約した。その場の説明では納得したが、元本割れはないのか、円高で大丈夫か、と今後が不安になった。

【問題点】

近年、銀行で取り扱う金融商品は多種多様化し、リスクの高い商品も扱うようになったため、銀行で勧める商品だから安心とはいえなくなっています。消費者は商品の仕組みやリスクを理解したうえで取引することが求められています。

事例の個人年金保険とは、保険料を支払って、あらかじめ定められた年齢から年金の支払いが開始されるものです。この商品は仕組みが難しく、外貨建ての場合は為替の変動によるリスクや手数料がかさむといったデメリットもあります。

また、個人年金保険について銀行は保険会社の募集代理店であり、契約場所は銀行でも契約先は保険会社になります。保険会社の運用状況によっては、将来の受取金額が支払った保険料を下回ることもあります。

【アドバイス】

① 契約はよく理解してから
金融・保険商品の購入で大切なのは商品
を正しく理解することです。中には、内容
が複雑で少し説明を聞いただけでは理解で
きない商品もあります。不明な点があるつ
ちは手を出さないという態度が大事です。

個人年金保険についても、商品の内容を理解できない場合は、その場ですぐに契約せず、個人年金保険の必要性を感じない場合は、きっぱりと断りましょう。

② 契約先の保険会社を確認する
個人年金保険の契約は保険会社と締結することになります。どの保険会社と契約するのか、保険会社の信用性はどうかなどをよく確認しましょう。

③ 為替差損と手数料に注意
個人年金保険が外貨建ての場合には、日本円で受け取る際に、外貨を円に換算するといくらになるかという為替相場の影響を受けます。為替相場の状況によっては、受取金額が支払った保険料を下回ることもあります。また、外貨を円に換えるのに手数料が差し引かれることも考慮しなければなりません。

④ 中途解約の想定を忘れずに
一定期間の預け入れや払い込みを行うことを想定している商品では、中途解約すると解約料が差し引かれ、解約返戻金が支払った保険料を下回ることもあります。解約せざるを得ない突然の事態が将来生じることも想定しておきましょう。

困ったときは、お近くの消費生活相談窓口にお問い合わせください。

▼問い合わせ

埼玉県消費生活支援センター春日部
☎048-734-0999または
生活課市民生活担当（内線252）



市立図書館 開館時間
 佐間3-24-7 午前9時30分～午後7時
 (「みらい」内) 休館日
 TEL 556-4227 1月1日(出)～4日(火)・11日(火)・17日(月)・24日(月)
 FAX 555-3770 31日(月)、2月1日(火)・7日(月)・14日(月)
 ※休館中の図書の返却はブックポストをご利用ください

主な新着図書

- ・99年の愛 (橋田壽賀子)
- ・乙女の初恋 (折原みつ)
- ・いまなんつった? (宮藤官九郎)
- ・幸せの器 (おぎざんた/作、坂田泉/絵)
- ・中学生までに読んでおきたい日本文学 1・2 (松田哲夫)

おはなし会

▶日 時 1月19日(水)午前10時30分～11時
 ▶対 象 2、3歳児と保護者
 ▶内 容 絵本、パネルシアターなど

▶日 時 1月22日(土)午前11時
 ▶対 象 幼児
 ▶内 容 絵本や手遊びなど
 ▶主 催 おはなしタンパリン

▶日 時 2月5日(土)午後2時
 ▶対 象 幼児・小学生
 ▶内 容 絵本や紙芝居など
 ▶主 催 おはなしの会

▶日 時 2月12日(土)午後2時
 ▶対 象 幼児・小学生
 ▶内 容 絵本や紙芝居など
 ▶主 催 おはなしポケット

※場所は、いずれも図書館おはなしのへや

読み語りの会

▶日 時 1月14日(金)、2月11日(金)午前10時30分
 ▶場 所 図書館ミーティングルーム
 ▶内 容 絵本や紙芝居など
 ▶主 催 おしゃべりインコの会

定例子ども映画会

▶日 時 1月15日(土)午後2時
 ▶場 所 中央公民館第2学習室
 ▶題 名 フランダースのいぬ ほか (46分)
 ▶定 員 30人 (先着順)
 ▶入 場 料 無料

郷土史講座

▶日 時 2月15日(火)・25日(金)午後1時30分
 ▶場 所 中央公民館第2学習室
 ▶題 名 古文書が語る行田の歴史
 ▶講 師 郷土博物館学芸員
 ▶定 員 60人 (先着順)
 ▶入 場 料 無料

ブックスタート

4カ月児健診に合わせて絵本を配布しています。
 ▶日 時 1月18日(火)、2月4日(金)・15日(火)
 午後1時受付開始
 ▶場 所 保健センター
 ▶持 ち 物 母子健康手帳

移動図書館巡回日程

北河原小	須加小	桜ヶ丘小	太田東小	星宮小	北小	南河原小	太田西小	荒木小	埼玉小	泉小
1月18日(火)	2月15日(水)	2月19日(木)	1月20日(木)	1月21日(金)	1月25日(火)	1月26日(水)	1月27日(木)	1月28日(金)	2月2日(水)	2月4日(金)

※変更となる場合もあります

各種相談 (1月15日～2月15日)

相 談	場 所	日 程	時 間	問い合わせ
法律 (予約制)	産業文化会館2階会議室	1月25日(火) ※次回2月22日(火)の予約は2月1日(火)から	午前9時～午後3時	生活課 (内線252)
行政	産業文化会館2階会議室	1月17日(月)、2月7日(月)	午後1時30分～3時30分	
結婚	VIVAぎょうだ	1月16日(日)、2月4日(金)	午前9時30分～11時30分 (受け付けは午前9時30分～11時)	
消費生活 多重債務	市役所	1月17日(月)・18日(火)・20日(木)・21日(金)・24日(月)・25日(火)・27日(木)・28日(金)・31日(月)・2月1日(火)・3日(木)・4日(金)・7日(月)・8日(火)・10日(木)・14日(月)・15日(火)	午前9時30分～午後3時30分	VIVAぎょうだ ☎556-9301
夫婦関係・DVなど (予約制)	VIVAぎょうだ	1月20日(木)・27日(木) 2月3日(木)・11日(金) ※市内在住の方対象の電話相談は1月15日(出)	午後1時～4時 (電話相談は午後1時～2時30分)	
内職	市役所	1月18日(火)・21日(金)・25日(火)・28日(金) 2月1日(火)・4日(金)・8日(火)・15日(火)	午前10時～午後4時	商工観光課 (内線383)
人権	忍・行田公民館	2月9日(水)	午後1時30分～3時30分	人権推進課(内線221)
税務	中央公民館 (「みらい」内)	1月18日(火)、2月15日(火)	午後1時30分～3時30分	関東信越税理士会行田支部 ☎554-1411
水道料金の休日納付	水道庁舎 (前谷)	2月6日(日)	午前8時30分～正午	水道課 ☎553-0131
水道料金の夜間納付	水道庁舎 (前谷)	1月18日(火)・25日(火) 2月1日(火)・8日(火)・15日(火)	午後5時15分～7時	



山形おきたま愛の武将隊が 忍城址に登場

11月23日、山形県南部の米沢を中心とする^{おきたま}置賜地方をPRする「山形おきたま愛の武将隊」が、本市を訪問しました。

直江兼続や前田慶次らに扮した武将隊は、忍城址で気迫に満ちた演武の披露や、忍城おもてなし甲冑隊とのトークセッションで置賜地方を代表するイベントやグルメを紹介。来場者らは、その後の記念撮影会で戦国武将との撮影や会話を楽しんでいました。

おいしい彩のかがやきをPR

12月4日、JAほくさい行田中央支店で農協まつりが開催されました。

新鮮な野菜や魚などが低価格で手に入るとあって、朝から多くの方が足を運び、会場は大いににぎわいました。また、猛暑の影響を受けた埼玉県産ブランド米「彩のかがやき」を応援しようと工藤市長自らPR。試食した誰もが口をそろえて「おいしい」と話していました。



間髪入れずにはじくかるた

11月20日、グリーンアリーナサブアリーナで第5回彩の国21世紀郷土かるた行田大会が行われました。

読み札が読み上げられると、間髪入れずに「はい」の声とともにかるたをはじく子供たち。緊張感ある静寂な会場は、絵札を取るたびに大きな歓声が上がっていました。

堀さんが語るポジティブな子育て方法

11月27日、「みらい」文化ホールで「みらい文化講演会 堀ちえみトークショー」が行われました。

仕事をしながら5人のお子さんの子育てに励む堀さんは、自分の子供たちとの日常の過ごし方をありのままに紹介。子どもの意思を尊重することや笑い声が絶えない家庭を築くことの大切さなど、明るくてポジティブな話に、観客は熱心に聞き入っていました。



行田シニアが フレッシュマン大会で初優勝

11月29日、行田リトルシニアの選手14人が市役所を訪れ、リトルシニア関東連盟北関東支部のフレッシュマン大会で初優勝したことを工藤市長に報告しました。

同大会にはチームに所属する中学1年生のみで臨み、抜群のチームワークで優勝を勝ち取りました。行田野球史に新たな一歩を刻んだ選手らは「全国に行田の名を轟かすことができるよう今後も頑張っていきたい」と意気込みを語っていました。



親子で力を合わせて

11月23日、古代蓮の里北側駐車場周辺で、第3回いのちを守る森づくり親子植樹祭が行われました。

前日から降り続いた雨も植樹にあわせたようにぴたりとやみ、絶好の植樹日和となったこの日。260人の親子が、宮脇昭横浜国立大学名誉教授の指導の下、シラカシやアラカシなど37種類2,232本の苗木を植樹しました。参加した親子らは緩くなった土壌に足を取られながらも、「大きく育て」と願いを込めて、力を合わせて作業しました。

1本のたすきをつなぐ駅伝競走大会

11月28日、総合公園およびその周辺を会場に第54回“浮き城のまち行田”駅伝競走大会が開催され、市内外から101チームが参加しました。

1本のたすきを5人一組でつなぐこの大会。前の走者から熱い思いと一緒に、たすきを託された選手は、「任せとけ」と言わんばかりに、先行するチームに追いつこうと勢いよく駆け出していました。



入館者50万人を達成した古代蓮会館

平成13年4月22日にオープンした古代蓮会館で12月12日、古代蓮会館入館50万人達成記念セレモニーが行われました。

記念すべき50万人目の入館者となったのは小針在住の矢口藤一さん。矢口さんには、50万人目の認定書や古代蓮会館オリジナルグッズ、こぜにちゃんとフラベエのぬいぐるみなどの記念品が工藤市長から手渡されました。矢口さんは「私の自宅は古代蓮の里の目と鼻の先で、いつも園内を散歩しています。古代蓮会館にも何度も来ていて、50万人目という記念の入館者となれて驚きましたし、うれしいです」と話していました。



いきいき 行人

納得のいく演奏で彩の国・埼玉 ピアノコンクール金賞を受賞

安永 桜子さん（18歳・持田）

今月は、第21回彩の国・埼玉ピアノコンクールE部門（高校生部）で金賞を受賞した安永桜子さんを紹介します。

安永さんがピアノを始めたのは5歳のころ。お姉さんがピアノを習っていたことと、お母さんの勧めもあり、音楽教室へ毎週通うようになり、音楽の楽しさを覚えたそうです。学校での合唱コンクールでも伴奏を担当するなど、ピアノ演奏では周囲から頼られる存在となっていた安永さんは、中学3年生の進路選択の際、悩んだ末に東京の桐朋女子高等学校音楽科に進むことを決めました。午前5時30分に起床し片道2時間掛けて通学。音楽科目の授業に加え、レッスンを受けたり、帰宅してからも練習に励んだり、安永さんが鍵盤に触れない日はありません。

これまでの努力は次第に実力に結びつき、



全日本学生音楽コンクールや大阪国際コンクールなど、大きなコンクールでの入選を果たしてきた安永さん。昨年8月の予選、9月の準本選を経て11月に本選へ進んだ第21回彩の国・埼玉ピアノコンクールでは、周りを気にすることなく集中して演奏に臨むことができたそうです。しかし、中学1年のときにこのコンクールで銅賞を受賞した経験や今までの入賞歴から「今回も取れて銅賞まで」とこれまで以上の成績をあきらめていた安永さんですが、自らの予想を覆す金賞受賞に「すごく緊張したけれど、自分に合った課題曲だったので納得のいく演奏ができました。指導してくれた先生にも感謝しています」と喜びもひとしお。さらに、特別賞の埼玉新聞社賞やE部門およびF部門（大学生）の県内在住者のうち最優秀者に贈られる彩の国・ピアノコンクール賞など、4つもの賞を受賞する記念すべきコンクールとなりました。

毎日の練習の積み重ねにより、今では精神面や技術面での成長が演奏に現れてきており、今後、さらに深くピアノを学ぶため大学に進学すること。ピアノ教室で子供たちの指導に当たるお姉さんの手伝いも楽しみながら「将来は音楽に携わる仕事をしたい」と力強く話す安永さんは、これから自分の歩む姿をしっかと描いています。

私の作品

俳句

佐間 根岸 克美
対面の湖に色置く冬紅葉

桜町 大塚 保子
帰り花人生いつも七転び

下中条 飯塚よね子
渡り来る対岸の風冬兆す

北河原 小島 光子
庭先の池に顔出す栗名月

南河原 若林 水翁
白鳥を待つ一村の空広し

門井町 森下さとし
八ヶ岳肩組合いて冬に入る

荒木 高沢よね子
地に低く黄泉路照らせよ秋の蝶

下中条 大澤シズ子
柿熟るる夫婦凡愚に五十年

城南 千代田富子
朝いちに線香のけむる菊の花

棚田町 財津ミチエ
菊盛り一期一会の花香る

前谷 町田 貞子

松茸や今年も横目で覗むだけ

桜町 吉岡 守子

青い空花梨の黄色二つ三つ

渡柳 長森 伊代

小春日にのびくと寝る猫愛す

城西 八木橋近蔵

足湯にて話はずみし国なまり

富士見町 森 節子

高々と取り残されし柿二つ

（木島 斗川 監修）



『忍城』

ホザナ保育園園児（3歳～5歳児）

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までにはがき・封書で広報広聴課へご応募ください。



堀越 琥太郎ちゃん (清水町)
父・純一さん 母・真美さん
平成22年1月19日生まれ
「健やかに大きくな〜れ☆」



高橋 優頼ちゃん (前谷)
父・知典さん 母・理英さん
平成22年1月31日生まれ
「モリモリ食べる姿が大好き♡」



小林 大峨ちゃん (谷郷)
父・計夫さん 母・ゆみこさん
平成22年1月14日生まれ
「常に雄雄しく逞しく」

はじ め ま し て



新井 凱翔ちゃん (埴玉)
父・国彦さん 母・麻依さん
平成22年1月30日生まれ
「誰からも愛されますように☆」



石井 瀨馬ちゃん (谷郷)
父・皓さん 母・里味さん
平成22年1月21日生まれ
「男らしく育ててね」

平成22年3月生まれのお子さんを募集します

○1月31日(月)までに電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。



○応募者多数の場合は、2月3日(木)午後1時30分から市役所306会議室で公開抽選を行います。

さわやか サークル

アリーナヨガクラブ

～ヨガで明日への活力に～

協会が主催した星河地区のヨガ教室でヨガによる効果を実感した星河地区の方が中心となって平成20年8月に結成されました。現在は星河地区の方だけでなく、市外の方も含め40人のメンバーが毎月第1・2・3水曜日の午後7時30分から活動しています。

ヨガと聞くと関節や筋肉などに負担をかけ、変わったポーズをとるといつらそんなイメージがありますが、20歳代から70歳代までの幅広い年齢層の方や親子で所属する方もいる同サークルでは、自分のできる範囲で無理をしないことを心掛けながら、体をねじったり、伸ばしたりと柔軟性を意識したポーズを何パターンも取り入れています。「簡単なポーズでも十分健康になる」と語る水橋祐子先生の動きに合わせてポーズを取る皆さんは、普段使わない筋肉を使うことで、体が健康的になっていくのを実感するともに少しずつ自分の体が柔らかくなって



グリーンアリーナ柔道場に響き渡る深い呼吸音。今月は健康できれいな体を手に入れられるといわれているヨガに取り組むアリーナヨガクラブを紹介します。

同クラブは星河地区体育



いくとといった「小さな成長」にも喜びの表情を見せます。また、腹式呼吸と瞑想を行いながら体を動かすヨガは、リラックスしながら自分を見つめ直すことができるため、「気持ち穏やかになり、前向きな気持ちで毎日を送れるようになった」と心理的にも効果が表れていることを感じているようです。

心も体もきれいにし、明日への活力を与えてくれるヨガ。皆さんにとって、ヨガはそれぞれのライフスタイルに欠かせないものとなっています。

▼問い合わせ 小山宅 ☎55618212

臨時職員

▼勤務場所 観光案内所（JR行田駅前）▼勤務時間 午前9時～午後4時（土・日曜日、祝日勤務あり）※4月1日（金）より15日程度のローテーション勤務 ▼勤務内容 観光案内や電話対応など ▼募集人数 1人（申し込み多数の場合は選考）▼時給 830円 ▼申し込み市販の履歴書（写真添付）に必要事項を記入のうえ、2月18日（金）までに商工観光課へ持参。

▼問い合わせ 同課（内線382）

行田市人権教育

合同学習講演会

▼日時 1月15日（土）午後1時30分開演 ▼場所 「みらい」文化ホール ▼内容 こんのひとみさん（シンガーソングライター・絵本作家）による、親子で子どもの夢、悩み、希望を共に話し合うことの大切さについての講演 ※手話通訳あり ▼入場無料 ▼主催 行田市教育委員会、行田市PTA連合会、北埼玉地区人権教育推進協議

会、行田市人権教育推進協議会

▼その他 ひととき保育（2歳以上の未就学児の保育・無料）希望者は、1月11日（火）までにひとりづくり支援課へ申し込みください（当日の申し込み不可）。また、市内の小・中学生が描いた人権ポスター展を同時開催します。▼問い合わせ 同課 ☎556-8319

第4回行田市ソフトバレーボールレクリエーション大会

▼日時 3月13日（日）午前9時受け付け ▼場所 グリーンアリーナ ▼参加資格 18才以上の方 ▼チーム編成 混合の部および女子の部とし、1チーム5人以上 ▼参加費 1人200円（スポーツ保険、資料代など）▼主催 行田市ソフトバレーボール連盟 ▼申し込み・問い合わせ 2月20日（日）までに同連盟成田宅 ☎557-1844または ☎090-2763-1662

第1回行田市

少年少女囲碁大会

▼日時 2月20日（日）午後1時～4時30分 ▼場所 中央公民館

（「みらい」内）▼内容 「浮き城のまち」選手権大会（定員32人・先着順）、棋力別認定大会、初心者を対象とした9路盤戦、入門教室 ▼対象 中学生以下の方（小学生以下は保護者同伴のこと）※入門教室は保護者の参加可 ▼参加無料 ▼主催 行田市、行田市教育委員会、行田市碁業会、（財）日本棋院 ▼申し込み 1月15日（土）～28日（金）に同館 ☎556-2649 ▼問い合わせ 行田市碁業会伊藤 ☎090-9344-7036

第9回読書推進学習会

読み聞かせボランティアスキルアップ講座と交流会

▼日時 2月27日（日）午後1時30分～4時 ▼場所 VIVAぎょうだ ▼内容 わらべうたを題材とした読み聞かせの研修 ▼講師 落合美智子さん（児童図書研究家、「おはなしとおんがくのちいさいおうち」主宰）▼定員 50人（先着順）▼参加無料 ▼主催 （財）忍郷友会読書推進実行委員会 ▼後援 行田市教育委員会 ▼申し込み・問い合わせ 1月15日（土）～2月20日（日）に（財）忍郷友会事務局遠藤 ☎556-9000（火・金曜日

のみ）または宮脇書店行田店 ☎554-6300

子育て談話室 たんぽぽ

▼日時 2月7日（月）午前10時～11時30分 ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」▼内容 子育て中の親同士で語らう（託児付き）▼対象 市内在住の乳幼児を持つ父母 ▼定員 30人 ▼会費 100円 ▼主催 行田市民生委員児童委員連合会 ▼後援 行田市、行田市社会福祉協議会 ▼申し込み・問い合わせ 1月4日（火）から行田市社会福祉協議会 ☎557-5400

「こころ」アート展

限らない挑戦

▼日時 1月20日（木）～23日（日）午前9時～午後4時30分（23日は午後3時まで）▼場所 郷土博物館企画展示室 ▼内容 障害福祉サービス事業所「こころ」に所属している方の絵画展示 ▼主催 NPO法人C-I-L-HIこうせん ▼問い合わせ 同法人 ☎555-1100 FAX 555-1301

広告

第13回公募行田市美術展

▼日時 2月10日(木)～13日(日)午前9時～午後5時(13日は午後4時まで) ▼場所 「グリーンアリーナ」サブアリーナ ▼内容 絵画(彫刻を含む)・工芸・書・写真 ▼主催 行田市美術家協会、行田市教育委員会、(財)行田市産業・文化・スポーツいさいさ財団 ▼問い合わせ 行田市美術展実行委員会事務局(産業文化会館内) ☎55616371

埼玉県地震対策セミナー

▼日時 2月9日(水)午後1時30分～4時 ▼場所 埼玉会館大ホール(さいたま市浦和区高砂3-1-4) ▼内容 講演①平井邦彦さん(長岡造形大学名誉教授)による「阪神・淡路大震災と新潟県の二つの地震」②田中淳さん(東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター長)による「災害から生き延びるために」、防災関連企業・団体の展示ブース、地震に関する資料の展示・説明、県職員による無料耐震診断 ▼定員

埼玉県内市町村職員を目指しませんか



埼玉県内市町村職員の魅力をPRするフォーラムを開催します。公務員を目指している方、市町村職員に関心のある方など、多くの方の参加をお待ちしています。

- ▶日時 2月14日(月)午後1時30分～4時
- ▶場所 埼玉会館大ホール(さいたま市浦和区高砂3-1-4)
- ▶内容 基調講演、市町村職員(事務系)による経験談などを交えたパネルディスカッション
- ▶定員 1,000人(先着順)
- ▶参加費 無料
- ▶申し込み 2月3日(木)～9日(水)にインターネットによる申し込み※詳細はホームページ「SAITAMA WORKS Navi」(<http://www.hitozukuri.or.jp/navi/>)をご覧ください。
- ▶問い合わせ 彩の国さいたま人づくり広域連合自治人材開発センター人材開発部市町村職員担当 ☎048-664-6681

第4次求人企業合同面接会

1千300人 ▼入場無料 ▼その他 先着1千人に防災グッズプレゼント ▼問い合わせ 埼玉県消防防災課 ☎048-830-3173

ものづくり大学 建築CAD設計製図

▼日時 2月18日(金)午後1時～4時 ▼場所 大宮ソニックシティビル4階市民ホール(さいたま市大宮区桜木町1-7-5) ▼対象 平成23年3月に大学・短大・専門学校などを卒業見込みの方および1～3年以内

ものづくり大学 建築CAD設計製図

の既卒の方 ▼参加企業 30社(予定) ▼その他 履歴書持参、入退場自由、参加企業の求人などの情報誌を配布 ▼問い合わせ 埼玉県雇用対策協議会 ☎048-647-4185

▼訓練期間 2月17日(木)から3カ月間 ▼場所 ものづくり大学 ▼講師 同大学教員ほか ▼対象 建設業に携わった経験があり就職を希望する方 ▼定員 30人 ▼受講無料※テキスト

講演「いま必要な日本人の心 ―上杉鷹山に学ぶ―

ト代のみ自己負担 ▼申し込み・問い合わせ 1月17日(月)までに同大学 ☎564-3880

▼日時 2月18日(金)午後4時～5時30分 ▼場所 ベルヴィアイトピア ▼講師 童門冬二さん(小説家) ▼定員 20人(先着順) ▼入場無料 ▼主催 武蔵野会 ▼申し込み・問い合わせ 1月15日(土)～2月10日(木)に同会(武蔵野銀行行田支店内) 上澤 ☎556-3195

広告

予備自衛官補

▼受付期間 1月11日(火)～4月6日(水) ▼対象 一般 18歳以上34歳未満の方【技能】18歳以上55歳未満の方 ▼試験 一般・技能ともに4月15日(金)～18日(月)のいずれか1日 ▼その他 採用説明会を1月16日(日)、2月20日(日)、3月13日(日)午前10時～正午、午後1時～2時に行います。 ▼資料請求・問い合わせ 自衛隊埼玉地方協力本部熊谷地域事務所(〒360-0037 熊谷市筑波3-90-1 国際ビル2階) ☎522-4855

年度末金融相談会

▼日時 2月4日(金)午前10時～午後4時 ▼場所 行田商工会議所会議室 ▼内容 運転資金・設備資金・開業のための融資相談(要予約) ▼相談員 日本政策金融公庫熊谷支店融資担当者 ▼持ち物 確定申告書、決算書(直近2期分)、預金通帳、借入明細、税金の領収書、免許

証、社判・印鑑、見積書(設備資金の場合) ▼申し込み・問い合わせ 2月3日(木)までに電話で同会議所中小企業相談所 ☎556-4111または日本政策金融公庫熊谷支店国民生活事業 ☎521-2731

ひな人形作り紙粘土教室

▼日時 2月5日(土)午後1時30分～3時 ▼場所 児童センター1工作室 ▼定員 25人(先着順) ▼参加費 500円 ▼持ち物 作品を持ち帰る箱 ▼申し込み・問い合わせ 1月8日(土)から直接または電話で同センター ☎554-5706

佐間写真クラブ

新春作品発表会

▼日時 1月20日(木)～23日(日)午前9時～午後4時(20日は午前10時から) ▼場所 佐間公民館 ▼入場無料 ▼問い合わせ 同クラブ代表高澤宅 ☎555-1335

紙ものいろいろ

コレクション展

▼日時 1月7日(金)～10日(月)午

前10時～午後5時 ▼場所 ウニコス鴻巣(鴻巣市北新宿225-1) ▼内容 なんでもコレクターの栗原喜文さん(市内在住)が集めた映画ポスター、めんこ、マッチのラベルのほか、日本全国銘酒ラベル、鉄道切符、たばこのパッケージなど懐かしいものを展示します。 ▼入場無料 ▼問い合わせ 栗原喜文 ☎090-1535-4460

始めよう!

健康吹き矢教室

▼日時 1月22日・29日、2月5日の各土曜日(計3回) 午後2時～4時 ▼場所 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場トレーニング室2(熊谷市上川上300) ▼内容 健康吹き矢の基本動作から実技までを行い胸式呼吸と腹式呼吸をマスターする ▼対象 小学5年生以上の方 ▼定員 30人(先着順) ▼受講料 1千500円(高校生以下900円) ▼申し込み・問い合わせ 1月21日(金)までに電話またはFAXで同公園管理事務所 ☎526-2004 FAX X526-2014

第10回特別支援学校

職業教育フェア

▼日時 1月21日(金)正午～午後5時、22日(土)午前10時～午後3時45分 ▼場所 浦和コソフ階コソフホール(さいたま市浦和区高砂1-12-1) ▼内容 生徒が作成した製品の展示と頒布、マッサージ実演体験 ▼問い合わせ 特別支援学校職業教育フェア実行委員会事務局(県立大宮北特別支援学校) 鯨井 ☎048-622-7111

埼玉県立

中央高等技術専門学校
オープンキャンパス

▼日時 1月15日(土)午後1時30分～4時 ▼場所 県立中央高等技術専門学校(上尾市戸崎975) ▼内容 学校説明、入試情報、実習見学、実習体験 ▼対象 おおむね30歳までの方 ▼申し込み・問い合わせ 1月14日(金)までに、電話・FAX・Eメールのいずれかの方法で同校 ☎048-781-3241 FAX048-781-8990 Eメール n813241@pref.saitama.lg.jp

広告

《住民基本台帳人口》

(財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

申し込み・問い合わせ

産業文化会館 TEL556-6371 FAX556-6372
 商工センター TEL553-0510 FAX553-2021
 古代運会館 TEL559-0770 FAX559-0784
 グリーンアリーナ TEL553-3377 FAX553-0487

<http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html>

遺言・相続無料相談会

▼日時 2月11日(金)午前10時～午後4時
 ▼場所 熊谷総合相談センター(熊谷市宮町2-132林ビル4階)
 ▼相談方法 【電話相談】 ☎048-872-8055(開催当日のみ) 【面接相談】 2月9日(水)午後5時までに埼玉司法書士会へ予約
 ▼その他 面接相談は1組30分
 ▼主催 埼玉司法書士会
 ▼問い合わせ 同会事務局 ☎048-803-7801



ご利用ください
トレーニング室

グリーンアリーナ内のトレーニング室は25種類のトレーニングマシンや振動ダイエットマシン、マッサージチェアなどを完備。トレーナーが常駐しており、初心者でも安心して利用できます。
 ▼時間 午前9時～午後9時(日曜日、祝日を含む) ※毎月第2・4月曜日は休館(祝日の場合は翌日休館)
 ▼利用料金 1回2時間400円(障害者手帳提示による減額制度あり)
 ▼対象 高校生以上
 ▼利用方法 初回は講習会を受講のこと(窓口または電話で予約してください)



自然な香りの「ハーブソープ」作り

▼日時 2月18日(金)午後2時～4時
 ▼場所 商工センター1404研修室
 ▼内容 ハーブを使って、肌に優しい無添加のせっけんを作る。
 ▼講師 ハーバルセラピスト(アロマグレース)
 ▼対象 成人 ▼定員 20人(先着順)



マスターと作る
お洒落なハンギング

▼参加費 1千500円
 ▼申し込み 1月17日(月)午後1時～2月13日(日)に直接同センター
 ▼日時 1月30日(日)午後1時～3時
 ▼場所 古代運会館研修工作室
 ▼内容 鉢植えを置くスペースがない場所でも壁を利用し空間装飾として楽しめる、寄せ植えとはひと味違ったハンギングバスケットの基本を学びます。
 ▼講師 染谷孝子さん(日本ハンギングバスケット協会認定ハンギングマスター)ほか
 ▼対象 小学校高学年以上
 ▼定員 30人(先着順)
 ▼参加費 3千500円(保険料・材料代)
 ▼申し込み 1月15日(土)午後2時～23日(日)に同館



体育施設 アルバイト・パートスタッフ

職 種	勤 務 時 間	募集人数・対象	時給など	申し込み・問い合わせ
①グリーンアリーナ 窓口受付・施設管理 スタッフ	【月～金曜日】 午後5時30分～9時30分 【土・日曜日、祝日】 午前8時30分～午後9時30分のうち 4～8時間程度 ※週3日程度のローテーション勤務	若干名 ※18歳以上59歳以下の方 ※試用期間(2カ月間)あり	800円 ※試用期間は750円	履歴書(写真貼付)に希望職種を明記のうえ、グリーンアリーナまたは市民プール窓口。 ※選考方法は面接試験を予定 ●グリーンアリーナ(和田1242) ☎553-3377 ●市民プール(本丸3-5) ☎555-2455
②小学生水泳クラブ 指導員	【毎週金曜日】 午後4時～5時 ※上記時間の前後20分程度、準備・片付け作業あり	若干名 ※競水泳経験もしくは指導経験者を歓迎	【謝金】 1回 2,000円以上 ※資格・経験などを考慮のうえ決定	

広告

ぎょうだ 歴史系譜 202 行田の歴史再発見 5

海を渡ってきた文化

行田市北部の酒巻地区に位置する酒巻古墳群は、利根川の堆積などによって古墳群そのものが水田の下に埋もれてしまっています。現在までに23基の古墳が確認されていますが、まだ多くの古墳や遺物が埋もれているかもしれません。

昭和62年、かんがい事業に伴って酒巻14号墳の発掘調査が行われ、人物埴輪や馬形埴輪など多くの埴輪が出土しました。ここから出土した人物埴輪のうち2体は、手先が隠れるほどの長い筒袖の服を着ていま



酒巻14号墳出土埴輪「旗を立てた馬」と「筒袖の人物」

す。これは高句麗（北朝鮮）の古墳壁画などに見られる服装です。また、馬形埴輪は、くらの後ろから筒状のものが延び、その先に旗を付けるようになっており、その形が埼玉古墳群の將軍山古墳や九州、朝鮮半島で出土している「蛇行状鉄器」という鉄製品と非常によく似ていることから、当初その用途が分からなかった蛇行状鉄器が馬に旗を付けるための道具であることが分かりました。この「旗を立てた馬」も、高句麗の古墳壁画に見られるもので、朝鮮半島の文化との関係を思わせるものです。ほかに、將軍山古墳からは銅碗や馬冑など、大陸文化に関連する遺物がいくつか出土しています。これらの文化は、6世紀後半にまとめて朝鮮半島から日本に伝わってきたものと考えられています。

酒巻14号墳の埴輪は、大陸文化との関わりなど古墳時代の習俗を知るうえで価値が高いこと、そして保存状態が非常に良いことから、平成19年6月に一括して国指定文化財に指定されました。これらの貴重な埴輪のうち、「旗を立てた馬」は現在郷土博物館で展示しています。そのほかの埴輪も修復作業を進めており、平成24年に修復が完成する予定です。

（郷土博物館 門脇伸一）

キラリ元気★

No.94

里芋のクリームシチュー

優しいおいしさ

里芋という和食のイメージが強いですが、ホワイトソースとの相性が抜群の野菜です。カリウムや食物繊維が豊富で低エネルギー。そのうえ消化を助けて胃粘膜を守ってくれるので、毎日でも食べたい食品です。

材料（2人分）

里芋…2個 ニンジン…小1本 玉ネギ…1/2個 鶏むね肉…100g
バター…大さじ1 ホールコーン…100g 塩・こしょう…少々
A【小麦粉…大さじ1 コンソメ…小さじ1 牛乳…200ml】

作り方

- ①里芋、ニンジン、玉ネギは皮をむき、鶏肉とともに食べやすい大きさに切っておく。
- ②鍋にバターを入れて熱し鶏肉をいため、野菜とホールコーンを加えて、具材が浸るまで水を入れて煮る。
- ③Aをよく混ぜ、②に加えてとろみがつくまで加熱し、塩・こしょうを加える。



栄養成分（1人分）

エネルギー 388kcal たんぱく質 20.0g 脂質 15.1g
炭水化物 43.1g 食塩相当量 1.1g カリウム 1,010mg

（社）埼玉県栄養士会 行田・羽生の会

今月の表紙

11月27日、コミュニティセンターみずしろで、年賀状板画教室が開催されました。講師を務めたのは、今年100歳を迎える渥美大童さん。参加者は、彫刻刀で版木を削り、難しい部分は渥美さんに教えてもらいながら、年賀状の下絵となる板画の作成を行いました。

■市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。

■市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。

■市報をカセットテープに録音したものを希望者宅にお届けします。

ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています